

Linkage

2025
Summer
Vol. 22



そらまめの様子

トピックス

日頃より当法人の運営にご支援・ご協力いただき、関係者の皆様には感謝申し上げます。

今年度は以下のスタッフで始動しております。今後共ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

理事長



石川

相談支援



左から山口・石田・吉原・内海

就労移行支援



左から
熊王・藤井・中澤・山口・関谷

事務



宮口

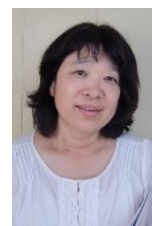
療育部



上段左から小川・内垣・石川・伴内・深澤・吉村・小田・小野澤・荻原・桐生
下段左から加藤・田村・平田



作業療法士



徳江

言語聴覚士



峯岸

2 活動報告

新年度が開始し、早3ヶ月が経ちました。各事業部の取り組みと直近の予定をご報告いたします。

啓蒙活動

今年は街路樹のゆりの木に花が咲きました。ここ数年花をつけずにいましたので、久しぶりに再開した花に胸が躍りました。

別名チューリップツリーと言われるのも納得のかわいらしさです。

先日、群馬県庁のtsulunós（ツルノス）で
教職員向けの研修動画を撮影してきました。

テーマは合意形成。

群馬県教育振興基本計画における「群馬県教育ビジョン」の

重点政策の一つに、「多様性を尊重し、協働する力の育成」が掲げられています。

こどもたちは（もちろん私たち大人も）価値観が多様化する共生社会に

生きていますし、価値観はこれからもますます多様化していく可能性があります。

さまざまな価値観を持つ他者とのかかわりの中で、新しい考えやアイデアに気づく

学びもあれば、意見や考えが衝突した際にみんなが納得することの

難しさを経験することもあります。

意見が衝突したときに、こどもたちは多数決で決めたり、影響力の強い人の意見がとおることを経験して大人になっていくのかもしれませんが。

しかし、共生社会では、多数決の対話の方法だけではなく、合意形成の対話の方法が求められるのではないかな。

そんな思いのもと、合意形成とは何なのか、合意形成の話合いの進め方はどのようなものかを教職員である先生方にワークを通して経験していただきました。

そのワークの気づきの中で、子どもたちが合意形成の対話の力を育むために「私たち大人は何がで
きるか」を振り返っていただきました。

チームの決定に全員が知恵を出し合い、自分の意見を述べ、意見を尊重してもらい、納得していたら、そのチームはいずれ、より良い解決策を見出す豊かな力を秘めたチームと言えます。

多くのクラスで、子どもたちと先生が豊かな解決力をもつチームとなることを祈りながら。

でも、合意形成って、大人だってむずかしいですね。



児童発達支援

今年度スタートし、こどもたちも、そらまめでの生活を楽しんでいるようです。
午前中のクラスでは「からだあそび」という名前の、一斉で活動をする時間をもっています。
4月から取り組んでいる「からだあそび」は【サーキット】です。

内容は通所しているこどもたちにあわせて若干内容をかえています。
平均台やへび道路は「ゆっくり、足元を目でみて、バランスを保ち、歩く」などといったねらいをこめ、その子その子に合わせて声かけをかえたりしています。



クッションの上を歩く際は「ぎゅーとつよくふむ」ように声掛けをしています。
「ぎゅーと」「つよく」「ふむ」を頭でイメージ、足の力の入れ方などの体のコントロールといったねらいも含まれております。

また一斉活動を終えた後はお茶休憩をいれ、パーテーションで部屋を区切り、1人ひとり担任と個別の療育「できるかな」を行っています。

1人ひとり「できるかな」の課題は違いますが、本人の「楽しい」「できた!」「またやってみたい」を大切に、次への課題へとスモールステップしていけるよう教材を工夫しながら、日々の支援をしています。

就労移行支援・就労定着支援

■新年度オリエンテーションをおこないました。

毎年、新年度の初日にオリエンテーションを実施しています。今年度も、トレーニング生の全員が参加しました。今年度のプログラムや、トレーニング上の注意、就職活動や定着支援についてお伝えしました。今年度もトレーニング生の皆さんが自分の特性に合った就職を実現できるように、私たちスタッフ一同、精一杯努めたいと思います。

■食事提供を開始しました。

リンケージでは、5月より食事の提供を開始しました。利用を検討する際に昼食の提供のご希望やご要望のお声があったこと、また、私たちもトレーニング生の皆さんが昼食を持参するご負担を減らせたらとの思いから提供開始といたしました。開始してみて、トレーニング生ご本人からも、これまで昼食をご準備してくださっていたご家族からも、おかげさまで大変ご好評いただいております。



■就労移行のInstagramをぜひご覧下さい

就労移行支援事業所リンケージでは、
Instagramで情報を発信しています。
プログラム、講座のご案内、作業の様子など、
その時々リンケージの様子を掲載しておりますので、
皆様ぜひ「就労移行支援事業所リンケージ」で検索して
ご覧になって見てください。

放課後等デイサービス

■関わりの中で育まれる思いやりと楽しさ

この日のきっずルームでは、運動遊び「転がしドッジ」から活動が始まりました。ジャンプや回避など全身を使った動きの中で、子どもたちはルールを理解し、状況に応じて行動を調整する力を育てています。遊びを通して楽しみながら、身体的な発達だけでなく、集団行動に必要な社会性も自然と身につけていきます。活動の途中、お友だちの来所を見て「最近あまり遊んでくれないんだよね…」とつぶやく場面もありましたが、実際にその子が到着すると、「今日はプラバンを印刷するの？」と関心を向け、日常的な行動をきっかけに自然なやりとりが生まれていました。子どもたちは、他者の存在や気持ちに気づき、関係を築こうとする姿勢を日々の中で少しずつ育てています。またこの日は、スタッフと一緒にトランプでババ抜きに挑戦。表情や動きから相手の気持ちを想像する力が求められる遊びですが、「ババを持っていると笑ってしまう」と本人が自覚しながらも、楽しそうに参加している姿が印象的でした。製作活動では、段ボールと厚紙を使って「ネコとその入れ物」を制作。「母のお友だちにプレゼントする」と話す様子から、自分の作品を通して誰かを喜ばせたいという気持ちが見えました。製作中に他児とのやりとりで一時的にトラブルが発生する場面もありましたが、スタッフの介入によって冷静さを取り戻し、「怒ったから頭が熱いよ」と自分の感情をことばで表現することができました。

感情のコントロールや表出の方法を少しずつ身につけることも、放課後等デイサービスでの大切な支援目標の一つです。その後、公園に移動し、完成した作品を大事に持ちながらお散歩気分ですく姿が見られました。公園では自然と鬼ごっこが始まり、さきほどのやりとりがあったお友だちとも再び笑顔で走り回るなど、子どもたち自身の「関係を修復する力」にも気づかされる場面となりました。



■ソーシャルスキルクラブ

「みんなで作る・みんなで味わう楽しいカレー作り体験」

5月24日のソーシャルスキルクラブはみんなでカレー作りに挑戦しました。

スタッフが事前に食材を準備し、スムーズに活動をスタート。班に分かれて、まずは野菜の皮むきから始めました。ピーラーを使いながら、にんじん、じゃがいも、たまねぎの皮をむいていきます。

「にんじんは簡単だったのに、じゃがいもは難しいなあ」「じゃがいもの芽は毒があるんだよね」と雑談を交えつつ、みんな慎重に作業を進めていました。

次は野菜・ウィンナーをカットする工程へ。丸い面を下にして切ることの難しさに苦戦しながらも、スタッフのサポートでスムーズに切ることができました。たまねぎを切ると目が痛くなることはみんな知っていて、敬遠する姿も。一方で、じゃがいもはひと口サイズにカットし、見事な包丁さばきを披露してくれました。仕上げは、たまねぎやウィンナーを炒め、ルーを入れてじっくり煮込みます。

いよいよ完成したカレーを食べる時間。「おいしい！」という声があちこちから聞こえ、おかわりする姿も見られました。みんなの頑張りが詰まったカレーは、大成功でした！

一度経験することで自信が付き、「家でも作ってみたい！」という気持ちが生まれるはず。これを機に、ご家庭でもぜひチャレンジしてみてください。



相談支援

皆さまこんにちは。受給者証の申請や更新、モニタリングに担当者会議など、日頃よりご協力ありがとうございます。皆様のご協力により手続きがスムーズに進められていること、改めて感謝申し上げます。今回は「受給者証の更新手続き」について、改めてお話をさせていただきます。
※高崎市に住所がある方のケースなので、高崎市以外の方はこの限りではありません。
高崎市では、福祉サービス利用開始後、誕生月に受給者証を更新します。
更新の流れとしては、

- ①誕生月の前月に市役所から受給者証更新の案内が届きます。
- ②受給者証更新の案内が届き、引き続きサービス利用継続の希望がある場合には、担当の相談支援事業所に連絡をお願いします。
- ③医師意見書が必要なタイミングの場合は相談員と確認し、主治医に意見書の作成を依頼してください。
- ④相談員が利用事業所に訪問し、モニタリングを実施します。
- ⑤相談員がご家族にもモニタリングを実施し、利用者のニーズを確認したうえで、新しい支援利用計画案を作成します。
- ⑥利用者に支援利用計画案について説明し、了承が得られれば計画案にサインをいただきます。市役所への申請書のご記入もお願いします。医師意見書も相談員にお渡しください。
- ⑦市役所に、支援利用計画案、申請書、医師意見書（必要な場合）を相談支援事業所から提出します。
- ⑧新しい受給者証がご自宅に届きます。

面談等でお時間をいただきますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。
また、ご相談やお気付きの点等ございましたらご連絡ください。

情報提供

～熱中症から身を守るために～

2024年5月から9月までの全国の熱中症による救急搬送人員は97,578人で過去最多を記録しました。このうち、120名が死亡し、2,178名が3週間以上の入院を要する重症でした。高齢者だけでなく、成人(18歳以上65歳未満)も全体の約33%を占めています。

熱中症から身を守るためには、熱中症を引き起こす要因を知り、個々が対策することが必要不可欠となります。

熱中症を引き起こす要因の1つ目は「環境」です。気温が著しく高い。湿度が高い。風が弱い。などがあります。2つ目は「からだ」です。激しい運動や労働によって体内に著しい熱が生じたり、熱い環境に体が十分に対応できていない。高齢者や乳幼児、持病のある方は熱中症になりやすい。低栄養や休息不足などがあげられます。3つ目は「行動」です。水分補給できない状況が続く。長時間の屋外作業。激しい運動などがあげられます。

予防できる対策としては、エアコンや扇風機の使用、涼しい服装で日傘や帽子の使用、日陰を利用しこまめな水分・塩分補給をすることなどがあげられます。

さらに、気象庁と環境省は熱中症対策として「熱中症警戒アラート」を発表しています。

熱中症の危険性が極めて高い遮熱環境が予測された場合に、暑さへの「気づき」を呼びかけ、国民の熱中症予防行動を効果的に促すため、全国を58に分けた府県予報区等を単位として、発表対象地域内の暑さ指数算出地点のいずれかで日最高暑さ指数33以上と予測した場合にその地域に発表しています。

2024年4月から9月までの警戒アラート発表は1492回で過去最多を更新しました。

自分や周りの方が熱中症にならないよう、普段から熱中症対策をして暑い日々を乗り越えましょう。

発行日	2025年7月1日 発行	
発行元	NPO法人 リンケージ	群馬県高崎市江木町 979-3
	TEL: 027-345-7390	FAX: 027-345-7391 http://www.npo-linkage.net/